



とっとり SDGs 企業認証 認証事業者申請内容



事業者名	株式会社あおい総合設計
所在地	米子市皆生 6 丁目 1 番 2 5 号
代表者	代表取締役 浦川 英敏
業種	建築設計業
事業概要	<p>建築設計事務所</p> <p>公共建築から民間企業の建物と多種多様な建築設計・工事監理をしている一級建築士事務所です。</p> <p>省エネ・構造設計・提案力を得意とし、設計を通じてお客様に価値を提供すべく独自の環境に配慮した工法設計で全国に展開しています。</p>

とっとり SDGs 企業認証 申請チェックシート

[申請者名:株式会社あおい総合設計]

2030 年に目指す姿

1-1<2030 年に目指す姿> SDGs の達成に向けた自社の目指す姿を記載してください。

※自社の現状や、実行可能な取組からの積み上げで目標を設定するのではなく、自社が SDGs の達成に貢献するために 2030 年にはどんな企業でありたいかを検討し、記載してください。

弊社は弊社の事業を通し『「ローコスト、省エネ、節電」環境問題に真剣に取り組んでいます』

弊社は“オリジナリティ”をアイデンティティとし、単なる建築設計ではなく、用途や予算などお客様のご意向に最大限配慮しながらかつ、建物のデザインだけではなく、ローコスト化、節電・省エネ化、実際に建物を使われる方々の安全性にも配慮した設計をご提案し、柔軟で、強靱でかつ社会に溶け込む実用的な物件を社会に広めることを目標としています。

弊社はこれまで、公共施設やホテル、工場から一般住宅まで、地域社会や仕事、住まいを支えてまいりましたが、今後も全国ネットワークで得た技術と蓄積したノウハウを、弊社にいる設計のプロ、省エネのプロが都度最新の状態にアップデートしつつ、お客様へのコンサルティングを通じて、環境と社会に最大限配慮した物件をローコストで誰でもが活用し、社会へ浸透させ続けていくことを目指します。

そのために、健全経営による弊社の持続と、弊社を支える従業員の多様な働き方や働き甲斐、地域やお客様から選び続けていただけるサービスを備え、提供し、地域社会へ貢献し続けてまいります。

< 経営理念 >

- ・私たちは、先見性のある省エネ設計を通じて社会に貢献します
- ・私たちは、お客様に感動して頂ける、建物づくりを創造します
- ・私たちは、夢が持て、夢が語れ、夢を与えられる会社になります。

< 会社方針 >

- ・地域社会に必要とされる企業
- ・提案力でお客様に貢献できる企業
- ・お客様に必要とされる企業
- ・企画力でお客様に貢献できる企業
- ・お客様の財産づくりに貢献できる企業

1-2<上記の目指す姿の実現に向けた重点的な取組> 該当するチェックシートの取組項目を記載してください。

社会5 多様な人材の活躍

社会8 社会配慮型商品・サービスの提供

環境9 環境配慮型商品・サービスの提供

1-3<重点的な取組推進時のインパクト(正の影響、負の影響)の分析・考察>

上記の重点的な取組を実施することが、他方面へどのような影響をもたらすか、その効果だけでなく、負の影響も含めて分析し、記載してください。

【 正の影響 】

>多様な人材の活躍

弊社では、年齢や性別を問わず、例えば一級・二級建築士、住環境コーディネーター、インテリアコーディネーターなど多資格者が活躍中で、また、定年到達後も本人の意向に沿い継続雇用し、本人のやりがいに配慮した業務配分も行っている他、JJUターン者にも活躍していただいている。

弊社には、環境や社会に配慮した商品・サービスがあり、全国に販路があり、従業員が望む働き方を整備することで多様な人材が働きがいを持って働いていただくことによって弊社の商品・サービスが社会に広まり、強靱で、燃料消費など環境負荷の少ない建築物を増やしていくことができる。

>環境配慮型商品・サービスの提供

温暖化が進行することにより、空調の使用増加や光熱費の増加が発生する。弊社の技術のひとつに魔法瓶の原理を応用したものがあり、工場や倉庫といった大型の建築物でも「夏は 10～15℃涼しく、冬は 3℃温かい」建物を実現することが可能。弊社の取組の拡大により、社会全体での節電、省エネルギーを進めていくことができる。

>社会配慮型商品・サービスの提供

建築に関する資源は無限ではないため、省資源化に配慮する必要があるが、一方では人口減少や老朽化、制度変更に伴って公共施設や、医療福祉施設など公共性の高い施設の改築や建替が必要となってくると考えられる。弊社は独自技術“AES建築”“AES改修”により、一般的なメーカーシステム建築で決まっている一様の仕様ではなく、最初の計画段階でのきめ細かいヒアリングをもとにしたオーダーシステムにより、ローコストかつ高品質で提供し、お客様にとっては余剰資金が生まれ、他への投資も可能となるため好評を得ている。環境配慮のため必要な設備投資に対するコスト面でのネックを解消しつつ、品質・強度を保ちながら仕様を簡素化することで、施工の際の省資源化も実現させることが可能。環境保護と両立できる建築を社会に広げていく。

【 負の影響 】

>多様な人材の活躍

様々な年齢層、多様な資格者が社内に混在すると制度整備や人事労務管理面で煩雑となるが、チームで業務に臨んで克服している。また、お互いにとって思慮や知識を深め、より良い設計をすることにつながるとプラスにとらえている。また、人事評価においても公平な取り扱いができるよう、経営者自身が全員面談をするなど、丁寧な対応を心掛けている。

> 社会配慮型商品・サービスの提供、環境配慮型商品・サービスの提供

弊社の技術は、「人」を通してノウハウとして蓄積されているため、弊社の活動が拡大するほどに、弊社従業員並びにパートナー企業にとっては労働時間の増加などの負担が増加することとなる。また弊社の取引先が環境問題に積極的に取り組み、弊社に引き合いをいただくほどに、弊社従業員の業務量が増え、無策であれば労働時間も増加することとなるが、DX化や社員の労働環境、望む働き方との両立も進めていくことで克服していく。

社会

	取組項目	取組確認	現在の取組 (実施内容や時期などを具体的に記載)	今後の目標・目標達成に向けた取組
1	労働災害の防止	○	<p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外部主催の研修へ参加し、朝礼での発表や資料の回覧・掲示により情報を全社員へ周知徹底を行っている ・「安全運転マニュアル」を読み上げし、安全運転の意識啓発を図っている ・熱中症予防のための水分補給(ウォーターサーバーの設置)や対策飴の支給 ・過重労働防止の点から、PC電源が20時で自動的に切れるシステムを導入している 	<p>【今後の目標・達成時期】</p> <p>労働災害の発生件数 0件 (毎年)</p> <p>【目標達成に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・朝礼時の声掛けによる安全意識の向上 ・業務の効率化や、毎週水曜日の「ノー残業デー」の実施徹底による過重労働の防止
2	ハラスメントの防止	○	<p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ハラスメントを許さない」社長メッセージの掲示。 ・相談窓口を設置し、その旨は掲示、社内会議など折に触れて周知している ・ハラスメント防止規定の策定と、説明会の開催など内容の周知。 ・万一ハラスメントが発生した場合の加害者に対する懲戒規程の周知による未然防止。 	<p>【今後の目標・達成時期】</p> <p>ハラスメント発生件数 0件 (毎年)</p> <p>【目標達成に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談者・通報者の保護 ・多様化するハラスメントの定義に対応できるよう規程の見直し ・勉強会、説明会の定期的な開催による周知と未然防止への取り組み
3	女性の活躍	○	<p><KPI></p> <p>全従業員に対する女性の割合 35% (R5.4時点)</p> <p>全管理職に対する女性管理職の割合 0% (R5.4時点)</p> <p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『鳥取県男女共同参画推進企業』 (平成27年12月21日認定) ・『鳥取県輝く女性活躍パワーアップ企業』 (平成28年7月25日登録) <p>行動計画に沿い、ワークライフバランスの実現に向けて取り組んでいる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自社で企業宣言を作成している <p><企業宣言></p> <p>当社は、女性の積極的な登用により、安心して働き、また産後の職場復帰のサポートを行い、企業の一翼を担う人材を育成します。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 育児しながら働けるよう、短時間勤務や時間単位での有給が取得出来るサービス規程を整備します。 ② セクハラ・パワハラのない職場環境を作るために、倫理規定の整備と職場教育を行います。 ③ 育児休暇から職場復帰しやすい環境作りをします。 ④ 女性社員のキャリアアップをサポートし、管理的地位への女性の登用を目指します。 <p>上記を女性社員の意見を聞きながら、環境改善を図ります。</p>	<p>【今後の目標・達成時期】</p> <p><KPI></p> <p>全従業員に対する女性の割合 40% (R12時点)</p> <p>全管理職に対する女性管理職の割合 25% (R9時点)</p> <p>【目標達成に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在は女性管理職がおらず、管理職登用候補者を育成中。 ・スキルアップセミナーの受講推奨 ・段階を踏んだジョブローテーションの実施により、着実にステップアップしていただく環境づくり
5	多様な人材の活躍	○	<p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会社の様子が少しでもわかっているように、ホームページ上に「社員紹介」を掲載している。 ・高齢者の再雇用 65歳の定年後も、本人の意向を聞き継続雇用している。本人の「やりがい」に配慮した業務の配分を行っている。貴重な技術、ノウハウを社内に承継する貴重な人材として活躍してもらっている。 ・IJUターン者の採用(東京から2名の採用実績あり) ・年齢や性別を問わず、取得資格に応じた活躍フィールドの提供(一級・二級建築士、住環境コーディネーター、インテリアコーディネーターなど多資格者が活躍中) ・公益財団法人産業雇用安定センター鳥取事務所に登録し「エコ人材」(高齢者)の紹介をもらうようにしている。 	<p>【今後の目標・達成時期】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者再雇用、中途採用、・IJUターン者の採用の実施 3名(R5~7年度累計) <p>【目標達成に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・働きやすい職場環境の整備と、活躍の場、やりがいがある業務配分の実施と外部への周知。 ・外国人の方でも働いていただけるような環境の整備

			<ul style="list-style-type: none"> ・鳥取県自衛隊退職者雇用協議会に登録し紹介をもらうようにしている。 	
6	多様な働き方の促進	○	<p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康経営優良法人 認定 ・イクボス宣言 実施 ・がん検診推進パートナー企業 認定 <p>など、健康で安心して働ける環境を整備する宣言をし、認証を得ている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・育児中の方へは、希望があれば短時間勤務して頂ける体制も整備している。 	<p>【今後の目標・達成時期】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・短時間勤務の利用者 1名 ・育児取得者 1名 ・休暇取得日数 平均15日 (R8.3) <p>【目標達成に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社内コミュニケーションツールを整備し、希望する場所で仕事できる環境を整備 ・時差勤務など、社員が自分の働き方を選べる選択肢を複数提供する。
7	労働者への人権配慮	○	<p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就職差別が起きないよう、採用担当者は「公正採用選考人権啓発推進員」研修を受講し、社内に共有している。 ・賃金不払いなど不当労働とならないよう、営業、設計、事務が連携を密にし労働実態の適正な把握に努めている。 ・顧問社会保険労務士と連携を取り、社外からのチェックを実施。 	<p>【今後の目標・達成時期】</p> <p>現在の取組を継続するとともに、社員がお互いを認め合い、チームで協力し働きやすい職場づくりを行っていく。(毎年継続的に実施)</p> <p>【目標達成に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者(再雇用者)、中途採用、ひいては外国人など多様な人材が弊社で活躍していただけるよう、ダイバーシティに関する情報収集や社内啓発を実施していく。 ・役員による定期的な全社員面談の実施により、風通しの良い職場づくりを行う。
8	<p>社会配慮型商品・サービスの提供</p> <p>※環境に配慮した商品・サービスは環境9に記載してください</p>	○	<p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建物の耐震性、耐久性、耐火性に配慮した安全性の高い設計を行うことはもとより、人の動線や、まちの景観、ユニバーサルデザインにも配慮した設計提案を行っており、官公庁などの公共施設から、病院・福祉施設といった公共性の高い施設、商業施設など不特定多数の方が利用する施設でも当社の設計を活用いただいている。 ・弊社の独自技術「AES建築」「AES改修」(ローコスト・オーダーシステム工法)により、高品質な建物の省コスト化を実現させ、施主の経済事情にも配慮したサービス提供を行っている。 ・新築の設計だけでなく、既存建物を活かしつつ、長寿命化させる改修の提案を行っている。 	<p>【今後の目標・達成時期】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・問い合わせ、お客様の声への100%対応(毎年) <p>【目標達成に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・弊社は全国での業務実績があるため、多方面から多様な問い合わせが来ることが想定されるが、お客様(今後のお客様も含む)からの声には真摯に耳を傾け、対応していく。 ・問い合わせ事項は共通フォルダーに集約し、毎週の定例会議や毎日の朝礼での議題化、報連相の徹底。
9	地産地消	○	<p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・弊社は鳥取県外の建築設計も行う。また公共案件も多いため弊社の自由がききにくいことも少なくないが、可能な限り建築現場の地元事業者と協力して仕事が行えるよう努めている。 ・地元のリサイクル材料を積極的に活用するよう提案を行っている。 	<p>【今後の目標・達成時期】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・木造の倉庫の設計件数2件(R7年度までに) <p>【目標達成に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施主の意向、予算事情に最大限配慮する前提ではあるが、地域に永く存続する建物を設計する立場として、地元の事業所を優先して紹介します。現在、弊社の倉庫の設計は、ほぼ鉄骨造であるが、木造の高度な構造計算設計を用いて、木造での倉庫を施主に提案し採用されれば、地元の木材の利用が増えます。また、木材以外の地元産品を取り入れた設計ができないか検討していきます。

<p>10</p>	<p>地域社会への貢献</p> <p>※環境に関する内容は環境 10 に記載してください</p>	<p>○</p> <p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地元サッカークラブであるガイナレ鳥取の「百年構想パートナー」として活動を支援している。 ・島根スサノオ バスケツチームのゲームスポンサーに定期的に協賛して活動を支援している。 ・地域団体への寄付活動の実施 (鳥取銀行と連名で自治体へ、地域の若者団体への寄付、祭り、マラソン大会など) ・「あいサポート団体」登録。障がい者の方への配慮について理解を深め、弊社としてできることに取り組んでいる。 ・就労継続支援 B 型施設から積極的に、パン、クッキー等を購入し、当社行事のノベルティに活用している。 ・公益財団法人鳥取県文化振興財団パートナー協賛企業に所属し、文化芸術活動の支援をしている。 ・鳥取銀行私募債を活用し、公共施設に省エネ型冷蔵庫を寄贈しました。 ・職業訓練校に短期間講師の派遣。 ・古切手を集めて米子市淀江町赤十字奉仕団に協力している。 ・島根大学生による地域の高校生サポート「てらすくーる」の運営に協力している。 	<p>【今後の目標・達成時期】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・寄付や地域活動への参加回数増加等、地域貢献活動を充実させていく(毎年実施) <p>【目標達成に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域活動への協賛 ・スポーツ団体への支援 ・地域で活動を続ける団体への支援 ・金銭や物品寄付にとどまらず、業務効率化によって時間を生み、地域活動への参加協力を推奨していく
-----------	---	--	--

経済

	取組項目	取組確認	現在の取組 (実施内容や時期などを具体的に記載)	今後の目標・目標達成に向けた取組
1	事業継続計画 (BCP)の策定 ★BCPを策定していること	○	【主な取組】 ・BCP策定ワークショップへ参加し計画を策定 ・連絡網や緊急時の参集ルールなど、基本的な事項をおさなりにせず、徹底している。	【今後の目標・達成時期】 ・BCPを全社員に理解・浸透させる 必要に応じ内容をブラッシュアップし、より実効性の高い計画にしていく(R7年度までに) 【目標達成に向けた取組】 ・BCPの内容についての社内周知 ・計画に基づいた訓練の実施 ・訓練に基づき都度見直しを加え、有事の実効性を高めていく
2	セキュリティ対策	○	【主な取組】 ・設計にかかわる重要情報を保全するため、PCのウィルス対策などのセキュリティは常に最新の状態を保持している。 ・OSなどの定期的な更新(保守切れなどの防止) ・弊社が設計を提供する建築物については、動線や管理にも配慮した設計を提供している。	【今後の目標・達成時期】 ・セキュリティ上の事故発生 0件(毎年) (情報の漏洩や紛失、ウィルス感染などを発生させない) 【目標達成に向けた取組】 ・弊社が扱う情報は重要情報も多く含まれる。ファイアウォール等セキュリティ対策についての情報収集を行い、必要な手立てを定期的に取り組む。
3	法令順守の取組の徹底 必須項目	○	【主な取組】 ・建築関連法令など、基礎的な事項については常に最新の知識を持てるよう、定期的に周知をはかっている。 ・ベテラン社員や、再雇用者の力も借りて、スキルのみならず遵守すべき事項について、若手社員へ教育をしてもらっている。 ・業界団体などが主催する会議や勉強会など、外部からも情報を収集している。 ・顧問弁護士にコンプライアンスを専門家の視点で注視していただいている。	【今後の目標・達成時期】 ・コンプライアンス上の事故発生 0件(毎年) 【目標達成に向けた取組】 ・「法令違反を発生させない」意識の醸成 ・交通ルールの徹底、事故防止 ・アルコールチェックの厳正な運用 ・遵守すべき法令や事項についての社内徹底
4	情報公開	○	【主な取組】 ・弊社の理念、行動方針や経営者、スタッフ紹介、弊社が携わった施工事例紹介やローコスト工法やコスト削減事例、節電・省エネ設計の内容など、ホームページ上で可能な限り丁寧に紹介している。 ・また、建設・設計・エンジニアリング会社様へ向けて「ビジネスパートナー」目線での情報提供も実施している ・SDGsの取り組みについて、ホームページで情報を公開している	【今後の目標・達成時期】 ・環境配慮に関する情報発信の充実(R7年度) 【目標達成に向けた取組】 ・弊社の設計は「節電」「省エネ」を「ローコストで」実現することを提案している。 弊社の施工実績や考え方を紹介することは労働環境の改善や環境配慮に取り組む企業を増やすことにつながるものと考え、積極的に情報を発信していく
5	後継者の確保	○	【主な取組】 ・経営情報の整理 ・役員内での共有 ・管理職の育成 ・社長不在時であっても機能不全とならないよう行動方針は都度共有し、部門ごとで対応できるようにしている	【今後の目標・達成時期】 ・社長不在時の社内決裁ルールや権限配分のルール化(R7年度まで) 【目標達成に向けた取組】 ・企業としての重要情報の整理 ・経営情報の見える化 ・権限移譲、権限分散の可能性の検討 ・BCPにも通じる面があるが、有事の経営体制についても備える仕組みを構築する
6	コロナなどの市場変化を見据えた対応	○	【主な取組】 ・資材の納入遅延など、工期に影響を及ぼす事象の把握とお客様への情報提供 ・資材価格、材料価格動向を踏まえた適正な価格設定 ・ホームページから見積もりを受付できる仕組みとし、対面にこだわらず、また必要以上にお客様に時間をいただかないよう配慮している	【今後の目標・達成時期】 非対面型営業の活用拡大(R7年度) 【目標達成に向けた取組】 ・非対面での営業や情報提供方法の検討 ・県外顧客も多いため、非対面営業が充実できればより多くのビジネスチャンスが広がる。 ・節電、省エネ意識は今後一層高まると考えられ、弊社への期待も高まる。引き合いに対応できる体制を構築する。

7	自社以外の経営資源活用	○ <ul style="list-style-type: none"> 【主な取組】 <ul style="list-style-type: none"> ・弊社が行うのは設計であるため、ほぼすべてにおいて施工会社など、他社との連携があつてはじめて実現する。 ・お客様にとつても、パートナー企業にとつてもわかりやすく効果の高い設計が提供できるよう努めている。 ・最新の建築技術などは、全国から情報を得て、自社で取り入れている。 ・顧問税理士による会計業務。 ・顧問労務士による労務手続き。 ・社外委託で「営業支援サービス」を活用して、WEB 営業を可能にしている。 ・金融機関とビジネスマッチングにて取引先の紹介をいただいている。 	<ul style="list-style-type: none"> 【今後の目標・達成時期】 金融機関からの紹介していただいた施主から、設計業務の獲得。3件(R7 年度までに) 【目標達成に向けた取組】 <ul style="list-style-type: none"> ・まずは紹介していただく為に、金融機関の担当者に、弊社のターゲットを具体的に説明。 ・金融機関の担当者から取引先に配布してもらうカタログの作成。
8	デジタル化による生産性向上	○ <ul style="list-style-type: none"> 【主な取組】 <ul style="list-style-type: none"> ・見積もり依頼をWEB受付し、速やかな反応ができるようにしている。 ・ペーパーレス化を順次進め、フルリモートでも対応できる業務範囲を増やすよう努めている ・社内コミュニケーションツールのデジタル化 ・ドローンを利用した建物調査の実施 ・チームソフトの導入で、自宅、外出先からもリモート会議に出席できるようにし、無駄な移動時間の削減 	<ul style="list-style-type: none"> 【今後の目標・達成時期】 設計・提案フローのDX化により省力化を図り、案件対応件数を増加させ、増収を目指す(R7年度において、R4 年度比で増加) 【目標達成に向けた取組】 <ul style="list-style-type: none"> ・BIM本格稼働の進行(使用するスタッフのスキル向上) (※BIM(ビム):3D モデルをベースに設計や検討を進められる建築設計に用いられるソフトウェアです。完成イメージや変更による印象の変化などを視覚的に掴むことができるので、施主との合意が得られやすくなり、手戻り等が減り効率化が進みます。) ・勤怠管理など、人事・労務・総務部門のDX化に関する情報収集と導入の検討 ・古い紙図面をデータ化して保管。劣化を防止するとともに、省スペース化、検索が容易となるなど業務効率化を進めていく。 ・ソフトウェアに関する情報収集 ・社内での活用方法の検討
9	雇用の維持・拡大	○ <ul style="list-style-type: none"> 【主な取組】 <ul style="list-style-type: none"> ・東京から技術者2名を採用。エリアを問わず、弊社に関心を持ってくださる方へは広く門戸を開いている。 ・技術の承継のため、65 歳定年を迎えられた方へも、継続勤務意思のある方とは再雇用契約を締結して活躍して頂いている。 ・弊社の雰囲気に触れてもらえるよう、ホームページにて社員紹介を公開している。 ・企業説明会や就職セミナーへの積極的な参加。 ・毎年インターンシップの受入れ。 	<ul style="list-style-type: none"> 【今後の目標・達成時期】 新規雇用数 3 名(R7 年度まで累計) 【目標達成に向けた取組】 <ul style="list-style-type: none"> 現在も求人を実施中(技術者は常時募集している) Uターン・Iターン者を積極的に雇用 働き方改革や福利厚生充実などによる離職防止 ・省エネ設備をローコストで提供する弊社の技術へは全国から引き合いがあるが対応しきれていないのが現状。DX化等によって生産性を向上させる一方で人員も増加させることで業務範囲を拡大させていく。
10	人材育成・能力開発	○ <ul style="list-style-type: none"> 【主な取組】 <ul style="list-style-type: none"> ・鳥取県、産業技術センター、鳥取産業保健総合支援センター、商工会議所、金融機関、建築士事務所協会、建築士会、メーカー等主催のセミナー、研修会、講習会への参加。 ・資格取得推奨及び講習費等の補助。 ・建築専門誌、関係書籍を購入。 ・定期的なチーム編成の変更で、多様な技術を学ぶ。 ・新しいソフト等の勉強会開催。 ・朝礼で冊子「職場の教養」の音読。感想発表を実施している。 ・設計プロポーザルに参加し、常により良い提案内容、表現方法に挑戦している。 (※プロポーザル:地方公共団体、民間企業が設計者を決める設計コンペ) 	<ul style="list-style-type: none"> 【今後の目標・達成時期】 <ul style="list-style-type: none"> ・若手社員が、設計プロポーザルの主軸になる。 当社では、プロポーザルの案件ごとにチームを作り挑みます。アイデア、知識を持ち寄り磨き上げていきます。現在、若手社員は、意見を出す、資料を集める、提案書を作成すると全般に携わりますが、主軸(チームリーダー)に期待するのは、意見をまとめる、冷静に決定をだす、スケジュール管理をする、プレゼン発表者になることが目標です。(R8 年までに) 【目標達成に向けた取組】 <ul style="list-style-type: none"> ・各自が資格取得目標計画を作成。 指導者と面談し、必要なサポートを実施。 ・外部研修への積極的な参加。 ・情報の社内共有。

環境

	取組項目	取組確認	現在の取組 (実施内容や時期などを具体的に記載)	今後の目標・目標達成に向けた取組
1	<p>【気候変動リスク・機会の分析・対策①】</p> <p>自然環境の変化が経営にもたらす影響</p>	○	<p>【リスク・機会の分析】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・CO2による温暖化などの気候変動による光熱費増加が収益を圧迫 ・自然災害によるインフラ寸断などにより物流が停止し、コピー用紙など業務に必要な物品が手に入らず、業務不全となる可能性がある。 <p>【分析に基づく主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・弊社は、魔法瓶の原理を応用した夏涼しく、冬温かい建物を設計することが可能であり、エアコン使用を極力抑えられる設備環境を自社でも採用しているほか、他社へも活用提案を行っている。 ・ペーパーレス化を進めるとともに、リモートワークが可能な業務を増やし、会社でなくても業務ができる体制を整えている。 	<p>【今後の目標・達成時期】</p> <p>弊社技術を活かした省エネ建築の拡大により、エネルギー使用に頼らない寒暖対策を備えた建物を普及させる(毎年実施)</p> <p>【目標達成に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・弊社の省エネ工法・技術について積極的に情報を開示。特徴から効果について数字も用いて具体的にわかりやすく示すとともに、施工事例も可能な限り紹介する。 ・併せてWEBでの問い合わせ、見積もりを活用し、全国どこのお客様にも対応していく。
2	<p>【気候変動リスク・機会の分析・対策②】</p> <p>社会・制度の変化が経営にもたらす影響</p>	○	<p>【リスク・機会の分析】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・脱炭素に対する取り組みの本格化は、弊社にとっては技術を活かせる機会の増加につながる <p>【分析に基づく主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・脱炭素化に向け、収益が厳しいなかにあっても設備投資をしていただけるよう、ローコストで建築ができるような設計を提供している。 ・省エネによる燃料消費量の削減に寄与できる建物設計や、既存の建物の長寿命化を提案していく。 	<p>【今後の目標・達成時期】</p> <p>省エネルギー、省資源での建物づくりによるコスト削減提案(毎年実施)</p> <p>【目標達成に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・弊社の独自技術にさらに磨きをかけ、単純な建築設計ではなく、施主が希望する建物を、よりローコストでかつ、省エネできる仕様を複合的に組み合わせた付加価値の高い提案を行っている。
3	<p>【環境負荷リスクの分析・対策】</p> <p>自社の事業活動が引き起こす影響</p>	○	<p>【リスク・機会の分析】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現場などへの移動、打合せのための移動などには自動車を使うことも多く、弊社への引き合いが増えるほどに燃料の消費が多くなる ・業務のための紙利用や、PCの利用による電力消費など資源を利用が増える。 <p>【分析に基づく主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・WEBでの問い合わせ、見積もりができるようにしているほか、社内会議もWEBで行うなど、人の往来を減らせるよう工夫している。 ・ペーパーレス化、業務工程の効率化を短縮し、省資源・省エネにも取り組むべく、BIMソフトウェアは導入。現在一部人員のみで使用しており、利用可能者の拡大、本格稼働に向けて準備を進めている。 	<p>【今後の目標・達成時期】</p> <p>弊社の活動によるCO2排出量の削減(環境4、5と共通)</p> <p>CO2排出量 26.5t-CO2/年(R5.6) CO2排出量 25.7t-CO2/年(R6.6) CO2排出量 25.3t-CO2/年(R7.6)</p> <p>【目標達成に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・BIMの本格稼働による設計～管理フローのデジタル化 ・テレワーク導入検討、再生可能エネルギーの自社利用の検討
4	<p>【カーボンニュートラル①】</p> <p><省エネ>燃料消費量の削減</p> <p>重点項目</p>	○	<p><KPI></p> <p>CO2 排出量 16.5t-CO2/年 (R3.7~R4.6 時点)</p> <p>*決算期と合わせて6月まで集計</p> <p>*ガソリン使用料 6.2kより算出</p> <p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・弊社で使用する燃料は車両のガソリンがほとんどであるが、省エネを推奨する立場として、資料燃料の見える化を進め、各人での削減を求めている。(ガソリン使用料は、担当者ごと、月ごとに使用料を集計しており、対策を検討しやすい体制としている) ・県外出張時は公共交通機関利用を推奨 ・近距離は自転車利用 ・自動車はなるべく乗り合わせ、使用台数を減らす 	<p>【今後の目標・達成時期】</p> <p><KPI></p> <p>CO2 排出量 16.0t-CO2/年(R5.6 時点) CO2 排出量 15.5t-CO2/年(R6.6 時点) CO2 排出量 15.5t-CO2/年(R7.6 時点)</p> <p>【目標達成に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・省エネを提案する側の企業として情報発信もしており、社内研修やミーティングなどにて、社員に対しても一層の省エネ意識を醸成していく。 ・ソフトウェア導入による業務のデジタル化 ・テレワークが可能な業務範囲の拡大により、移動自体の削減に努める。

5	【カーボンニュートラル②】 <省エネ>電力消費量の削減 重点項目	<input type="radio"/> <p><KPI> CO2 排出量 10.8t-CO2/年 (R3.7~R4.6 時点) ・決算期と合わせて6月末まで集計 ・年間電力使用量 20,645kWhより</p> <p>【主な取組】 ・弊社社屋は、平成4年に建設した建物ですが、近年に床下と天井に熱反射シートを貼る改修と、窓を二層にする改修、天井にプロペラ扇を付け、エアコンの負荷電力を下げるようにしています。照明もLEDに付替えています。 ・加えて、電力は事務所での使用がほとんどであり、空調以外でも日ごろからこまめな節電を心がけている。 (事例) ・昼休憩時は消灯 ・センサー照明による消し忘れ防止 ・看板照明は季節ごとに時刻を調整 ・エアコンフィルターのこまめな清掃、など</p>	<p>【今後の目標・達成時期】 <KPI> CO2 排出量 10.5t-CO2/年(R5.6 時点) CO2 排出量 10.2t-CO2/年(R6.6 時点) CO2 排出量 9.8t-CO2/年(R7.6 時点)</p> <p>【目標達成に向けた取組】 ・事務所での使用がほとんどであるため、大幅な削減は難しいが1割の削減を目指す。労働時間自体の削減により、使用電力を減らしていく</p>
7	7 廃棄物の削減 ※事業系一般廃棄物、特別廃棄物など、産業廃棄物以外も含めた取組としてください	<input type="radio"/> <p><KPI> 総廃棄物発生量 1.59t/年(R3.7~R4.6 時点) ※売上高あたり廃棄量(t/百万円)でも可 【主な取組】 15 分別している。 (リサイクル・リユースしている物) アルミ缶、スチール缶、ペットボトル、蓋、テプラカートリッジ、両面使用済コピー紙、包装紙・封筒・厚紙、新聞紙、紙シュレッター、冊子、ダンボール (処分になっている物) 可燃ごみ、不燃ごみ、空き瓶 ホッチキス針は集めているが現在は不燃ごみ。</p>	<p>【今後の目標・達成時期】 <KPI> 総廃棄物発生量 1.49t/年(R5.6 時点) ※売上高あたり廃棄量(t/百万円)でも可</p> <p>【目標達成に向けた取組】 ゴミになっている物の中に「紙くず」がありますので、それをシュレッターにかけることで「古紙」としてリサイクルに回し、可燃ごみを減らしていく。社員にその周知と、効率のよい大きいシュレッターを購入する。集めたホッチキス針の引取業者を探す。 ハンステーブルの促進。</p>
8	8 水資源の適正な管理	<input type="radio"/> <p>【主な取組】 ・オフィスでの使用がほとんどのため、節電と合わせ、節水についても日ごろから社内呼びかけを行い徹底している。</p> <p>水道水使用量(R3.7~R4.6) 142m3</p>	<p>【今後の目標・達成時期】 ・自社で使用する水道使用量の10%削減(R7年度末)</p> <p>【目標達成に向けた取組】 ・2カ月ごとの水道使用量を前年対比で皆に掲示 ・節水設備への更新 ・花壇の水やり用に、近隣の為にボウフラ対策をして雨水を貯めて利用する。</p>
9	9 環境配慮型商品・サービスの提供 <u>※環境に関する内容を記載してください</u>	<input type="radio"/> <p>【主な取組】 ・太陽光発電による売電 5,815kwh (R3.7~R4.6) ・弊社が提供する設計は、節電、省エネに寄与する工法を前提としている ・設計にとどまらず、省エネに関するコンサルティングも専門部門を置いてサービスとして提供している。 ・鳥取県建築物環境配慮アドバイザー3名在籍 ・一般財団法人建築環境・省エネルギー機構認定 CASBEE 評価員登録員3名在籍</p>	<p>【今後の目標・達成時期】 当社が設計した、全国各地にあるエアコン使用量を削減できる建物の施工事例(鉄骨使用量の削減、輻射熱対策建材の使用)をお客様に見学していただけるようにし、省エネ建物の棟数を増加させていく(毎年10件以上)</p> <p>【目標達成に向けた取組】 ・事例とその効果を図面や数字を用いて積極的に公開し、認知度を高めていく ・弊社独自の工法についても積極的に紹介し、省エネに対する機運を高めることにも貢献していく ・WEB見積もりなど営業ツールの活用によって、お客様の移動も減らすことにも貢献していく。 ・全国の施主、建築会社と「建物見学会の協働体制」を構築し弊社立会がなくても見学受入れに対応。弊社社員の移動を削減しつつ、より多くの方へ効果を知っていただけるよう取り組んでいく。</p>
10	10 環境面での社会貢献 <u>※環境に関する内容を記載してください</u>	<input type="radio"/> <p>【主な取組】 ・会社周辺の清掃活動の実施 ・花壇の植樹などを実施 まちの景観を保つための取組を実施している ・砂防松の下草刈りボランティアに参加 ・日南町が所持するJ-クレジット50トン分を購入し、カーボンオフセットの取り組みを通じて、日南町の森林整備にも寄与した。 ・グリーン購入法適合商品を積極的に活用するよう提案を行っている。</p>	<p>【今後の目標・達成時期】 清掃活動や地域ボランティア活動への参加を早期から呼びかけて、参加数増加させる(毎年)</p> <p>【目標達成に向けた取組】 地域の環境保全、SDGsの達成に向けた取り組みを全社的なものと位置づけ、皆で取り組んでいく</p>